

昌子の広場

第38報 選挙特集

小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員 小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10
 自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626
 事務所 Tel(Fax) 0725-53-4451
 Email masakokob@yahoo.co.jp
<http://masako-hiroba.info/>
 ホームページもご覧下さい
 yahoo の小林昌子で検索出来ます



**熱い(暑い) 厳しい選挙が終わりました
2565人の皆様の声を束ね新しい船出です**

目次	
・選挙報告	P1-2
・H15年度大阪府下市町村決算見通し	P3
・住基ネット	P4
・昌子の広場	P4

9月5日に始まった市議選は期間中に思いもかけぬ台風と地震が到来、波乱に満ちた一週間でした。

結果は予想以上に多くの方々のご支援を頂き、本当に有難うございました。

4年間の議会活動の実績から再選への手ごたえはつかみつつありましたが、選挙戦に入って他陣営の執拗なまでの地元への切り崩しに遭って一抹の不安が頭の片隅から離れることがありませんでした。

しかし結果は前回得票数を大幅に上回り12位で当選させていただきました。今後は皆様の期待に応えるべくしっかり頑張る覚悟です。

<選挙の総括>

・市民派を貫く

厳しい選挙で無所属の候補者の多くが政党や何らかの組織の推薦を受ける中で、私は政党の推薦のお話も頂きましたが市民派のスタイルを貫きました。選挙の応援は全てボランティア、選挙カーは自家用車、車上の看板は前回の物を流用。事務所はいつも使っている事務所を使用。

お金のかからない選挙に徹しました。

・地元+各地の応援の相乗効果

地元の皆様の厚い支援とあわせ、遠くは相生市、赤穂市などから各地の市民派議員の多くの応援があり、この友情の連帯が今回の勝利をもたらしたものと感謝しています。これは今までの和泉市には無い新しい選挙の形が実現できたものと思います。

・新しい選挙の実現

選挙のときしか顔を出さないとひんしゆくを買う

選挙が今までのやり方でした。私は議会での積極的発言、その結果を会報で伝えることを4年間続けました。この結果が大幅な票の上積みを実現させたのではないのでしょうか。選挙はその時だけのものではない新しい形を実現したものと思います。

・選挙のあり方のついて

今回の選挙は多くの自発的なボランティアに支えられクリーンな選挙が出来ました。他の陣営からは必要以上に公職選挙法にとらわれたと奇異に見られたかもしれませんが、私の流儀の選挙を貫きました。

しかしながら心に引っかかることが一つあります。それは街宣車の連呼です。私達は少しでも政策を訴えたいためスポットを多く取り入れ市民の方々と直接対話することを心がけましたが、結果的には多くの選挙カーが大きな声を張り上げて練りまわし、市民の方々に大変な迷惑がかかったのではないかと危惧しています。公職選挙法の限界もありますが、今後心すべきと反省しています。



<選挙費用について>

これがお金のかからない選挙であったか自信はありませんが、選挙にかかった費用を公開します。

(1) 後援会準備関係

	適用	金額
収入	寄付(小林昌子)	503,086
支出	リーフレット作成	366,450
	郵送代	93,610
	その他	43,026
	計	503,086

(2) 今回選挙の収支報告(選管届出分)

	適用	金額
収入	寄付	578,560
	自己資金	194,265
	計	772,825
支出	印刷費	222,075
	広告費	259,728
	雑費	55,291
	食糧費	215,731
	通信費	20,000
	計	772,825

上記にはボランティアの応援等の無償提供は収支報告から除いています。

今回の費用の合計は1,275,911円で前回の1,148,261円を127,650円上回りました。

今回は前回作った看板を流用するなど費用をかけないように努めましたが、今回ポスター代等の選挙費用の公費負担を求めなかったことが影響して費用が大きくなりました。

今後は更にお金のかからない選挙を目指したいと考えています。

<選挙結果について>

・投票率について

今回の投票率は前回は5%も下回る結果となりました。

有権者は5千人増えているのに投票した人は逆に3千人減るという結果となりました。

ここ数回にわたって和泉市の市議会選挙では投票率の低下が続いています。この傾向は国政選挙を含め

全体としての傾向ですが、もっとも身近な市議会議員選挙の投票率の低下に歯止めがかからない状況は極めて深刻と考えねばなりません。

私たち議会人は市民の皆様の判断を厳しく受け止めるべきと考えます。私は今回公約に議会改革をあげました。市民の皆様に慕われる議会をなんとしても作らねばならないと考えています。

<投票結果>

	氏名	得票数		
		今回	前回	差
1	井坂よしゆき	5,693	3,832	1,861
2	辻ひろみち	3,180	2,954	226
3	赤阪和見	3,063	2,986	77
4	友田博文	3,019	2,866	153
5	柏ふくぞう	2,983	2,919	64
6	西口ひでみつ	2,958	3,214	-256
7	田代一男	2,932	2,824	108
8	吉川しげき	2,802	2,786	16
9	原口ひろみ	2,765	2,710	55
10	小野林じさお	2,594	-	
11	横山まさる	2,589	2,675	-86
12	小林昌子	2,565	1,946	619
13	おおの博之	2,515	2,603	-88
14	すどう洋之進	2,408	2,103	305
15	はっとり敏男	2,334	-	
16	山本秀明	2,318	2,137	181
17	さおとめ実	2,242	2,348	-106
18	やたけ輝久	2,161	2,454	-293
19	岡ひろ子	1,954	-	
20	つきもと直幸	1,914	-	
21	かねこ和子	1,901	2,131	-230
22	森悦造	1,802	2,039	-237
23	大橋涼子	1,761	-	
24	原しげき	1,734	2,076	-342
25	若浜きくお	1,713	1,906	-193
26	いづか省二	1,648	1,439	209
27	小泉まさかず	1,587	2,303	-716
28	辻本よしひさ	1,299	-	
29	片桐みさこ	1,255	-	

今回の低投票率では組織票を持つ候補者が有利との見方が一般的でしたが、結果は推薦を含み民主、共産の7人全ての候補者を上回る票を頂きました。和泉市も確実に変化していることを実感する選挙でした。

H15年度大阪府市町村決算見込み

大阪府より府内市町村（大阪市を除く）の平成15年度決算見込みの概要が発表されました。

和泉市の財政についてご理解頂きたく、その要約をお知らせします。

	H15年度	H14年度	増減	
歳入総額	51,441	56,354	4,913	
歳出総額	51,188	55,865	4,677	
形式収支	253	489	236	悪化
実質収支	220	473	253	悪化
単年度収支	253	91	344	悪化
経常収支比率	98.4	95.1	3.3	悪化

上は平成15年度と14年度の比較表です。
 歳入、歳出とも低下し予算規模がここにきて縮小していることがはっきり分かります。
 続いてその中身ですが、3つの収支及び経常収支比率の何れも14年度に比較して悪化しています。
 和泉市はH15年度の実質収支が220百万円であることから黒字決算を喧伝していますが、それは前年度よりの繰り越し473百万円があったため、15年度の単年度では253百万円の赤字となっています。（単年度収支）
 更に貯金にあたる基金の取り崩しが問題です。この取り崩し額は明らかになっていませんが、15年度予算では20億円以上の取り崩しが予定されており、これを考慮すると赤字体質は紛れもない事実でしょう。
 又経常収支比率は一気に3%以上も悪化し、比較的健全といえる80%台を大幅に突破し、100%に近づきつつあります。この100%を家庭にたとえれば給与等の収入が食費やローンの返済など避けて通れない支出に全て持って行かれる状態で、教養娯楽費等生活を楽しむ為の費用が全く使えない状態と同じです。

ここでいう各種収支とは

形式収支

形式収支 = 歳入決算額 - 歳出決算額

形式収支というのは、単純に歳入決算総額から歳出決算総額を引いたものです。

この形式収支は、単に現金収入と現金支出の差を示したただけなので、あまり深い意味を持っていません。

実質収支

実質収支 = 形式収支 - 翌年度へ繰り越すべき財源

実質収支というのは、先程の形式的な財政収支から、翌年度に繰り越さすべきと考えられる財源を引いたもので、市町村の純剰余金または純損失を意味します。

単年度収支

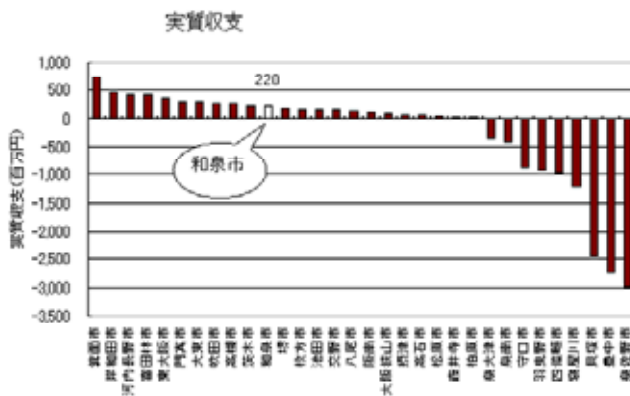
単年度収支 = 当該年度の実質収支 - 前年度の実質収支

先程の実質収支には、まだ前年度以前に発生した赤字や黒字の累積部分が含まれています。その影響を取り除いて、当年度だけの収支を捉えようとするのが、単年度収支です。

府内での和泉市の位置づけ

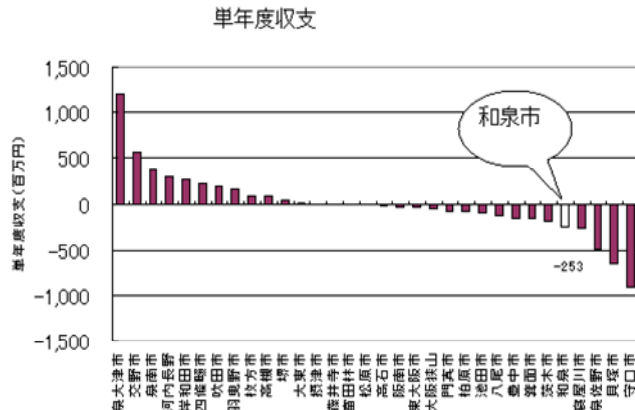
実質収支

比較的健全な部類に位置する。



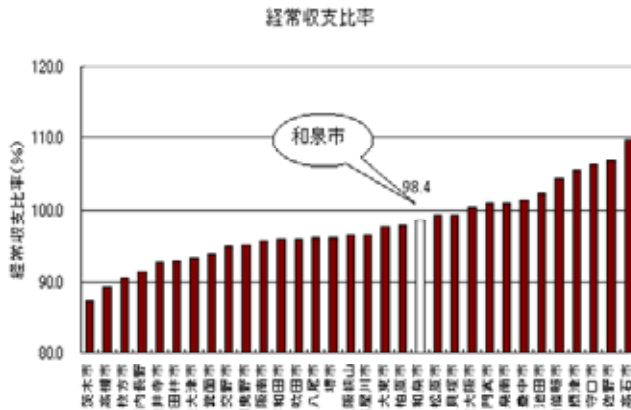
単年度収支

和泉市は劣位のグループに入る。



経常収支比率

真ん中より若干悪い位置にある。



横尾川ダム樹木の伐採始まる

横尾川ダム計画は現在大阪府の建設事業再評価委員会で再々評価中にも係わらず、ダム予定地の樹木の伐採を始めました。この地は周りの樹木により夏でも涼しい所ですが、切り倒されて赤土が見える山肌はもう以前の憩いの場とはほど遠い景観となっています。

自然は一度壊せば元に戻すのに気の遠くなる年月が必要となります。人知の浅はかさと言えばそれまでですが、何としてもこの暴挙を止めねばなりません。

先日の選挙の個人演説会にダムの地元のご夫妻が参加されました。その方のお話によりますと、「地元の中でこのダムに賛成なのは一部の有力者と言われる人のみで、普通の人は決してこのダムに賛成はしていません。昔ながらのこの地では有力者の意見になかなか反対は出来ないのです。」と言われていました。

今からでも遅くはありません。市民の方々のご理解とご支援を切にお願い致します。

現在横尾川ダム計画の見直しを求める署名活動を行っています。賛同頂けます方は駅頭での署名または私までご連絡下さい (Tel0725-54-2626)。



住基カードと公的個人認証のその後

引き続き住基カードと公的個人認証についてその後の状況を報告します。1年以上経過しても住基カードは249枚(計画の僅か5%)、公的個人認証に至っては9ヶ月でたった31件。市はPRに努めますと言われているが一向に効果が現れません。もともと市民にとって是非とも必要なシステムではなかったのです。

この住基システムに和泉市だけで14年度末まで人件費を除いて約5千万の開発費、運営費はこれも人件費を除いて年間500万円が必要となります。

誰のためのシステムなのでしょう？



	カード交付枚数	公的個人認証
H15.8	24	
H15.9	41	
H15.10	21	
H15.11	7	
H15.12	10	
H16.1	8	2
H16.2	10	4
H16.3	19	6
H16.4	19	1
H16.5	13	1
H16.6	24	4
H16.7	19	5
H16.8	20	6
H16.9	14	2
計	249	31

昌子の広場

ホームレスの方への衣類提供を行っています。協力頂ける方は下記へ連絡下さい。

宜しければお家まで引き取りにお伺いします。

Tel 0725-54-2626 小林迄ご連絡下さい。

既に12回釜ヶ崎にお届けしました。



<事務所行事> いずれも小林昌子事務所
 連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
 事務所 TEL 0725-53-4451

万葉講座

- ・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)
- いづれも午後2時より 参加費1,000円(3回分)
- ・29回 10/10(日) 一泊万葉旅行(山陰)
- ・30回 11/13(土) 万葉の花鳥風月 秋の花
- ・31回 12/11(土) 万葉の花鳥風月 霧、雪、雲

ちぎり絵講座

- ・10月13日(水) 13-16時
- ・講師 西原志満子さん
- ・参加費 実費 千円程度

パソコン講座(参加費無料)

- ・毎週 木 土曜日 14時から約2時間
- ・パソコンが初めての方もどうぞご遠慮なく。
- 初めてこられる方はご連絡下さい

市政相談会

- ・第2、4水曜日 20:~21:30